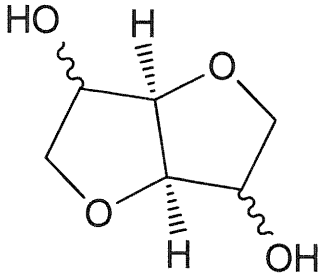
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2015-37861(P2015-37861A)
【公開日】平成27年2月26日(2015.2.26)
【年通号数】公開・登録公報2015-013
【出願番号】特願2013-169993(P2013-169993)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　27/36　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　47/06　(2006.01)
Ｂ２９Ｋ　69/00　(2006.01)
Ｂ２９Ｌ　7/00　(2006.01)
Ｂ２９Ｌ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　27/36　１０２
Ｂ２９Ｃ　47/06
Ｂ２９Ｋ　69:00
Ｂ２９Ｌ　7:00
Ｂ２９Ｌ　9:00

【手続補正書】
【提出日】平成28年8月9日(2016.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式（１）で示される植物由来のジヒドロキシ化合物に由来する構成単位を有するポリカーボネート系樹脂を含む表面側樹脂層と、
上記表面側樹脂層の裏面側に積層される裏面側樹脂層と
を備え、
上記表面側樹脂層の表面に波状の微細変調構造を有し、
上記表面側樹脂層の表面側に自己修復性コート層、又はトリアジン環含有（メタ）アクリレートプレポリマーと有機微粒子とを含む組成物から形成されるハードコート層を有する成形用加飾シート。
【化１】



（１）

【請求項２】
上記表面側樹脂層が着色剤を分散含有する請求項１に記載の成形用加飾シート。
【請求項３】

上記表面側樹脂層が、さらに上記（１）で示される植物由来のジヒドロキシ化合物以外の脂肪族ジヒドロキシ化合物を含む請求項１又は請求項２に記載の成形用加飾シート。
【請求項４】
上記微細変調構造における稜線間隔が１ｍｍ以上５００ｍｍ以下である請求項１、請求項２又は請求項３に記載の成形用加飾シート。
【請求項５】
上記微細変調構造における複数の谷線を通る近似仮想面を基準とする稜線の平均高さが５μｍ以上４０μｍ以下である請求項１から請求項４のいずれか１項に記載の成形用加飾シート。
【請求項６】
上記表面側樹脂層及び裏面側樹脂層が共押出成形法によって形成される請求項１から請求項５のいずれか１項に記載の成形用加飾シート。
【請求項７】
請求項１から請求項６のいずれか１項に記載の成形用加飾シートを金型内に配設する工程と、
上記成形用加飾シートを配設した金型内に溶融した樹脂を注入する工程と
を備える成形品の製造方法。
【請求項８】
請求項１から請求項６のいずれか１項に記載の成形用加飾シートを表面に備える成形品。